

令和7年度練馬区主催 ひきこもり講演

ひきこもりを生きる

～ 本人と親が傷つけあわないために～

日時

令和8年

1月10日(土) 14:00～16:30

場所

練馬区役所本庁舎

アトリウム地下 多目的会議室

(練馬区豊玉北6-12-1)



「ひきこもり」とは、単に家に閉じこもっている状態ではなく、社会とのつながりが希薄になり、孤立感や生きづらさを抱えている状態を指します。家族としてその状況をどう捉え、どう接すればよいのか、戸惑いや不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。本講演では、「ひきこもりとはどのような状態なのか」「家族として子どもにどう向き合えばよいのか」「周囲の人々はどのように関わることができるのか」といった視点で、長年にわたりひきこもり支援の実践と研究を行う長谷川俊雄氏にお話をいただきます。

【対象】 テーマに関心のある方

【定員】 80名 (先着順)

【参加費】 無料

申込方法

12月22日(月)までに、
専用フォームまたは
電話で下記問合せ先へ

専用フォームは
こちらから ⇒



※手話通訳をご希望の方は、
専用フォームにて申してください

問合せ先

練馬区福祉部生活福祉課
自立促進支援係
☎03-5984-4698

講師 長谷川 俊雄氏

社会福祉士、精神保健福祉士
白梅学園大学 名誉教授

☆social work lab MIRAI 代表



講師プロフィール

横浜市の社会福祉職として福祉事務所や保健所などに勤務後、精神科クリニックのソーシャルワーカーとして、不登校やひきこもりなど思春期・青年期の「生きづらさ」や、家族としての「苦しさ」に向き合う支援を実践。その後、大学教員として教育・研究に従事しながら、ひきこもり当事者の居場所「つながるcafé」や、援助職・家族支援を目的とした「social work lab MIRAI」を開設するなど、現場と地域に根ざした支援活動を続けている。

厚生労働省「ひきこもり支援ハンドブック」の作成にかかわる調査研究事業検討委員会委員長。